

第十二回松陰研修塾基礎コース

一年次第三回

「松陰ゆかりの地巡検」

阿川・肥中・滝部

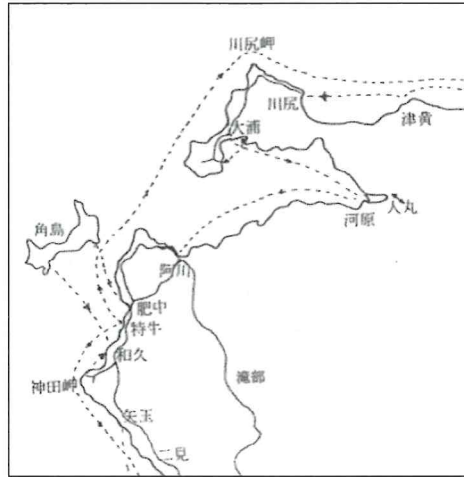
松陰研修塾では、平成二十八年十月二十九日(土)総勢約四十名の参加により、「松陰ゆかりの地巡検」として、山口市の県教育会館を出発、豊北町へのバス旅行を実施した。



熊井清男先生の指導で巡検

松陰は嘉永二年(一八四九)二十歳の時、藩命により六月二十七日から七月二十三日にかけて、海防視察のため、現在の島根県境の田万川から、江崎、須佐、萩、長門、豊北、下関までの北浦海岸を視察している。

途中、豊北町では阿川から狗瑠孫山を経て湯玉を通り、特牛、肥中から島戸浦、さらには角島にも渡り、海岸一帯を詳しく調査し、その日誌を「廻浦紀略」に書き残している。今回、その松陰ゆかりの地を訪ねた。



松陰は「『廻浦紀略』(嘉永二年七月十二日)」に次のように記している。

午後一撲を率い、附野に至り、庄屋次郎兵衛が宅に過り、俵石を見、島戸浦に至る。

阿川に至り、日和山の台場に登り、本浦の東西及び今浦山の台場を遠見す。

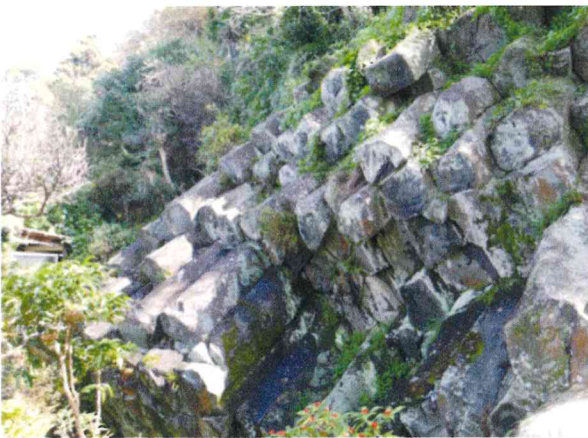
松陰はその日の午後、一人の下僕を連れて肥中を出発し、附野では、

庄屋の家に立ち寄って俵石を見ている。現在は観清園という庭園になっている。

その後、島戸浦を経て、阿川に至り、阿川では、日和山の砲台場を視察し、阿川湾の対岸の今浦山を遠望している。

○観清園の俵石

代々神田下村の庄屋であった来見田家の庭を、明治十年代に築庭して観清園と名づけた。俵石はこの場所にある玄武岩柱状節理の石である。なお、附野には日本三大薬師の一つと言われる東山寺がある。



観清園の俵石

○松陰先生登臨之跡碑

日和山は阿川湾に突出した岬で、松陰先生登臨之跡碑や台場句碑、松陰亭などがある。その他にのろし台や崖下には石生簀の石組がある。昭和四年、松陰没後七十年祭を記念して松陰先生登臨之跡碑が建立された。

松陰先生登臨之跡碑



松陰先生登臨之跡碑前の参加者